

ひめぼたる

姫螢

～ 中山道赤坂宿 金生山 ～

2013年

6月8日 土

【写真教室】デジタル一眼レフによるヒメボタル撮影入門 篠田通弘氏
(参加希望者は、金生山自然文化苑保存会まで事前申し込みが必要)

6月15日 土

二胡コンサート シータ(池田博子氏)
金生山のヒメボタルと陸貝(解説と見学会) 松本和芳氏

場所 金生山明星輪寺境内

日時 各回とも午後10時開始

環境保護協力金として 1人100円

※上記日時以外の夜間の立ち入りは禁止されています。

主催 大垣市 企画運営 金生山自然文化苑保存会

『送迎バス・宿泊セットプラン』をご希望の方は、サイト トラベル 電話 (0584) 73-7885 (担当 松原) Eメール dantai@ats.seino.co.jp 件名「ヒメボタル」まで

金生山明星輪寺(こくぞうさん)
伊勢朝熊山の朝虚空蔵、京都嵯峨野の昼虚空蔵とともに美濃赤坂の宵虚空蔵といわれ、日本三虚空蔵。

事務局 明星輪寺 0584-71-0124

岐阜県大垣市赤坂町 4610

初夏の深夜、 幻想的に光を放つ 大垣市天然記念物ヒメボタル。

ヒメボタルは山螢とも呼ばれる陸棲のホタルです。体長9mm(雄)、7mm(雌)前後の小さなホタルが、深夜に鋭くフラッシュのように発光します。雌は後翅が退化し飛ぶことができません。そのため分布域は限定され、金生山は貴重な棲息地として天然記念物に指定され、保護されています。



ヒメボタルの雌



ヒメボタルの雄

撮影 篠田通弘

20秒露光を15分間連続撮影・コンポジット処理

写真教室(6/8)



篠田通弘

徳山小学校に勤務の傍ら選跡分布調査と徳山村の自然と歴史と文化を残すことに情熱を注ぐ。岐阜県教育委員会(岐阜県文化財保護センター)在職中は徳山ダム水没地区選跡発掘調査を担当。生涯一考古学徒でありたいと今も願う。

現在、フリーランスのフォトグラファー。近年はヒメボタルなど金生山の四季をテーマに撮影を続ける。著書に『大昔の徳山村-織文人の息吹を追って-』『徳山村-その自然と歴史と文化-1、2』(共著)他、作品集に『白馬岳の初夏』『金生山明星輪寺の四季』等がある。山の考古学研究会会員。

●参加ご希望の方へ

- ・天然記念物金生山ヒメボタル棲息地の保護のため、観覧会以外の夜間立ち入りは禁止されています。
- ・ヒメボタルは生きています。虫除けスプレー、蚊取り線香、大光量のライトはご遠慮ください。
- ・写真教室へ参加し撮影を希望される方は、事前申込が必要で、詳しくは事務局までお問い合わせください。明星輪寺HPでも詳細を知ることが出来ます。
- ・車のライトを避けるため、午後10時から午前1時30分までは車の通行はできません。車で越えたい方は可能ですが、午前1時30分より前にお帰りの方は麓に車を止めて来山ください。6/15の二胡コンサートは事前申込は不要です。コンサート後はヒメボタル観察・撮影ができます。
- ・ご不明な点は、事務局まで。

二胡コンサート(6/15)



NORA(シータ)
(本名:池田能野いけだしの)

シータの長女。幼い頃からクラシックギターを学び、岐阜県立加納高等学校美術科(デザイン専攻)を卒業後、プロのギタリストを目指して本格的に学び始める。多忙な母を助け、デザインの仕事とともに二胡奏者シータのギター伴奏者としても各種イベントに出演している。

シータ(本名:池田博子)

名古屋芸術大学ピアノ科卒業。ピアノ講師として活動中、ラジオから流れた二胡の音色に感動して二胡をはじめ。張濱氏に師事し、現在は曾朴氏に師事。

ヤマハ音楽教室の講師として大垣市・羽島市・垂井町・池田町で指導するほか、岐阜市・各務原市にも教室を持ち、100名を超える生徒を指導。

門下生による二胡合奏団「胡博会」は地域の皆様の声援をいただき、幅広く活動中。

また、さまざまなオリジナル曲と共に、独自のスタイルで演奏を楽しんでいただく機会が増えている。

ヒメボタル・陸貝解説(6/15)



松本和芳

公益財団法人 NACS-J 自然観察指導員 (No.3833)。日本貝類学会会員。西濃地域の陸産貝類・淡水産貝類・淡水魚等の分布調査。自然観察会等のインタープリター。